

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

農業の作付け計画を立てましょう！

農業にとって栽培計画を立てることは重要です。農作業の少ないこの時期に、1年の栽培計画を立てましょう。菜園を無駄なく生かし、品質の良い野菜を作るには、事前の作付け計画が大切です。

栽培計画の立て方

①どんな野菜を、どのくらい作るか決めましょう

作りたい野菜の候補を挙げ、畑の広さや環境、販売できる量、新品種などを考え、候補の野菜を組み合わせる計画を立てます。

②栽培と管理に適した時期を確認しましょう

野菜は、それぞれ種まきや植え付けに適した時期があります。この時期を間違えると、生育が悪くなったり、収量が少なくなったりします。また、同じ時期にたくさん野菜の栽培を詰め込み過ぎると、天候によって後作の計画が遅れてしまうことがあるため、栽培時期に余裕を持たせましょう。

③野菜の特徴に合わせた場所を選びましょう

野菜は育つにつれて、大きくな

ります。成長して株が混み合うと、日が当たらずに育ちが悪くなったり、風通しが悪くなり病気にかかりたりすることがあります。それぞれに適した畝幅、株間、条間にするには、収穫時期の畑の様子をイメージしてみることも大事です。

④輪作を行いましょう

過去に野菜を栽培して、連作障害や病害の多発など、場所によって良し悪しがあったと思います。そのような場所は、異なる種類の作物を一定の順序で周期的に代えて栽培する「輪作」を行うと良いでしょう。

ちなみに：2月に行うべき農作業は？

- 不要になったマルチなどのビニールや、使用できなくなった資材などを持ち帰り、残渣（残りかす）などがないように畑の片付けをします。

- タマネギ、エンドウ、ソラマメなどは、マルチの植え穴や株基から出る雑草を早めに取ります。

- タマネギやエンドウマメなどの越冬野菜は、追肥する大切な時期です。

問い合わせ

農業振興課農業振興係

0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新なる魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



放課後児童クラブの支援員として、子どもたちと接する新見直敬さん

東城町にUターンし、放課後児童クラブに勤務する新見さんに話を聞きました。

放課後児童クラブの支援員として働く

私は東城町で生まれて、高校は庄原格致高校に通い、その後、京都の大学に進学しました。卒業後もそのまま京都に残ろうと思っていたのですが、京都で仕事が見つからなかったことと、親に「こっちに帰ってきたら？」と言われたこともあり、14年前に東城町に戻ってきました。

東城町に帰って、いろいろな仕事をしましたが、約5年前に「放課後児童クラブの支援員してみないか」と声を掛けてもらいました。以前、放課後児童クラブを運営している社会福祉法人の作業所で働いていたことがあったため、それで声が掛かったのだと思

ます。

私は、たくさん子どもと接したことが無かったので、最初は少し戸惑ったのですが、子どもたちは順応性がとても高く、素直に私のことも受け入れてくれました。

事業所もたくさん研修に行かせてくれ、また先輩たちの指導もあり、ここまでの5年間勤めることができています。子どもたちと日々接していると、みんな少しずつ変化し、成長を実感する瞬間がたくさんあります。それがとても嬉しくもあり、楽しみでもあります。

これからのこと

東城町は病院や商業施設などが中心部に集まっているので、私は不便を感じていません。

晴れた日は自転車通勤するのが日課です。これはグラウンドで走り回る子どもたちに付いていく体力の維持と、自分の健康を維持するためにやっています。将来のことはまだ分かりませんが、今は放課後児童クラブで子どもたちと接する仕事で自分にとっても合っているの、このまま続けたいと思っています。

問い合わせ

自治定住課定住推進係

0824・73・1257